

令和7年度第3回横浜市入札等監視委員会 議事概要

【日 時】令和7年10月30日（木）午後1時30分～4時00分

【場 所】[委員] WEB参加 [事務局]横浜市役所11階 契約部内 入札室

【出席委員】青柳 由香委員長、岡本 由美子委員、千々松 愛子委員、村瀬 景子委員

寺川 祐一委員

【議 題】

1 審議事項

- | | |
|---------------------------------|----|
| (1) 一般競争入札（WTO・総合評価落札方式）に係る抽出案件 | 1件 |
| (2) 一般競争入札（総合評価落札方式）に係る抽出案件 | 2件 |
| (3) 一般競争入札（条件付）に係る抽出案件 | 3件 |
| (4) 随意契約に係る抽出案件 | 2件 |

2 報告事項

- (1) 指名停止等措置の状況について
- (2) 入札及び契約手続の運用状況について
- (3) 談合情報対応状況について
- (4) その他

【議事内容】

議題1－（1）一般競争入札（WTO・総合評価落札方式）に係る抽出案件1件についての審議

対象案件：「都市計画道路横浜逗子線（釜利谷六浦地区）街路整備工事（その8）」

委員：抽出理由の説明。

唯一のWTO総合評価落札方式案件であるため。

本市：抽出案件について説明。

委員：「本件のように高度技術提案型の発注の場合、提案された工法によって予定価格や調査基準価格を変動させているのか。」

本市：「本市の標準積算に基づきあらかじめ設定しており、提案内容によって変動させることはありません。」

委員：「今まで1円単位まで示して入札されている事例や、一定の単位で価格を切り上げて入札されている事例を確認してきた。本件の各者入札金額の違いはどのような要因によるものと考えられるか。」

本市：「過去の事例と同様に、本件も公表されている積算基準や単価を用いることで、各者が本市の積算額を推測できた可能性があります。その上で、本件は技術評価点の比重が高いため、各者は技術提案の内容に見合った価格を提示しようと考えたものと推測されます。その結果、入札金額に差が生じたのではないかと考えられます。」

委員：「入札金額が調査基準価格を下回った場合、技術評価点は減点されるのか。」

本市：「高度技術提案型の場合は調査基準価格を下回ったことによる減点はしていません。」

委員：「本件は落札者1者のみ調査基準価格と同額の入札金額だが、過去の同種の案件、その1からその7までの各者の入札金額の傾向はどうか。」

本市：「案件ごとに発注方式が異なりますが、過去の案件ではいずれにおいても複数者による最低制限価格又は調査基準価格付近での入札がありました。」

委員：説明を了承。

議題1－（2）一般競争入札（総合評価落札方式）に係る抽出案件2件についての審議

抽出案件：1 「万騎が原小学校建替工事（第2工区建築工事）」
2 「旧上瀬谷通信施設公園（仮称）パークセンター2新築工事（建築工事）」

委員：抽出理由の説明。

- 1 総合評価落札方式案件で価格が高い案件であるため。
- 2 総合評価落札方式案件で価格が高い案件であるため。

本市：抽出案件について説明。

委員：「案件2は、次順位の事業者の方が入札金額は低かったものの、技術評価点の差により落札に至らなかった事案と理解した。仮に次順位の事業者が調査基準価格と同額で入札した場合は落札できたのか。」

本市：「試算した結果、そのとおりです。」

委員：「次順位の事業者の入札価格と実際の落札価格との金額差が大きく、また、次順位の事業者があと少し低い価格で入札した場合は落札者となり得たことから、結果が僅差で変わり得る状況にあった事案と認識している。」

委員：「総合評価落札方式の趣旨を鑑みれば妥当ではないか。」

委員：「土木工事だけでなく、建築工事も積算金額を推測可能なのか。」

本市：「一般的な建築工事の場合、本市が個別に見積徴収し積算している部分があります。ただし、今回の案件では見積採用単価を全て公表していたため、調査基準価格と同額で入札できた可能性はあります。」

委員：「案件1について、学校の新築又は建替えの際、校舎のコンセプトはどのように決まるのか。本件の木造校舎のように特徴的な形態にする場合には費用もかかるのではないか。」

本市：「通常はどのような教室を何室作るのかなど、教育委員会を中心に検討し、計画決定の上、工事発注されます。木造校舎は湿度調整や断熱性が良いなど快適性に優れる一方で、費用の問題もあるため、今後、増やしていくかどうかは未定です。」

委員：説明を了承。

議題1－（3）一般競争入札（条件付）に係る抽出案件3件についての審議

抽出案件：1 「令和7年度締結装置交換工事」
2 「（仮称）旧上瀬谷通信施設公園太田家住宅復原工事（建築工事）」
3 「舞岡八幡山しぜん公園さく井工事」

委員：抽出理由の説明。

- 1 応札者が1者かつ落札率が高い案件であるため。
- 2 一般競争入札（条件付）案件の中で比較的価格が高く施工実績を求めた案件であるため。
- 3 発注頻度の低いさく井工種の案件であるため。

本市：抽出案件について説明。

委員：「案件1について、今回は1者応札だったが、過去の入札者数はどうだったのか。」

本市：「昨年度は入札者がおらず、不調でした。令和5年度は今回の落札者とは別の1者入札でした。4年度は3者、3年度は4者、2年度は3者の入札がありました。」

委員：「入札事業者が減少している原因は何か。」

本市：「直接の原因は不明ですが、本件のように夜間施工が多い工事は入札者が少ない傾向にあります。」

委員：「予定価格が事前公表なのはなぜか。」

本市：「工種によって、一定価格未満の予定価格の場合は事前公表としています。」

委員：「案件2は独自性のある工事と思ったが、どのように予定価格を積算したのか。」

本市：「組立工事にかかる人工を計算し、新たに使用する部材についてはメーカーに見積依頼し積算しました。」

委員：「入札参加の想定事業者数は何者か。」

本市：「市内1者、準市内10者、市外6者で、計17者程度を想定していました。」

委員：説明を了承。

議題1－（４）随意契約に係る抽出案件2件についての審議

対象案件：1 「勝田小学校外構整備工事（その4）」
2 「三ツ沢公園陸上競技場施設改良工事」

委員：抽出理由の説明。

- 1 6号随契であり、小学校の工事で安全性が求められる案件であるため。
- 2 2号随契案件の中で珍しく造園工種の案件であるため。

本市：抽出案件について説明。

委員：「案件1について、不調が3回続いた経過を知りたい。」

本市：「1回目は市内舗装Aランク事業者が発注し1者応札がありましたが、予定価格超過でした。2回目は市内舗装A・Bランクに拡大の上で発注し3者応札がありましたが、1者が資格なし、2者が予定価格超過でした。3回目は市内舗装A・Bランクで資格を満たしている事業者全者を指名し入札を行いました、不調となりました。このようにランクの拡大や指名競争入札への変更など工夫を重ねましたが、いずれも不調に終わっています。」

委員：「2回予定価格超過による不調が続いた場合も、予定価格は見直さないものなのか。」

本市：「単価の見直しや見積の再取得等することはありますが、積算基準があるので必要以上に上げることはできないようになっています。」

委員：「最終的に随意契約とした経緯は何か。」

本市：「校舎の供用が開始された中であり、安全性の観点から早期に整備を完了させる必要があったことと、施工中の他工事が本件の動線と重なることもあり、元工事の請負事業者と随意契約をしました。」

委員：「透明性、公正性の観点から、できるだけ随意契約ではなく競争入札に付すことが望ましい。一方、全国的に人手不足や物価高騰により入札不調が発生しており、今後ますます深刻化が想定される。そのため、初回入札から市況に即した価格で競争が行われるように、予定価格の柔軟な積算も可能とするような制度設計も長期的には検討をお願いしたい。」

委員：「案件2について、本件の契約事業者でしか施工できない理由は何か。」

本市：「本件は陸上競技場の競技トラック走路の一部を補修する工事ですが、他の事業者が施工した場合、施工方法が異なることで既存のレーンと同じものが作れず、日本陸上競技連盟の求める条件を満たせなくなるリスクがありました。」

委員：説明を了承。

議題２－（１）指名停止等措置の状況について

本市より、「指名停止等措置の状況」について報告。

委員：報告を了承。

議題２－（２）入札及び契約手続の運用状況について

本市より、「入札及び契約手続の運用状況」について報告。

委員：「ランク別落札状況表に関して、ランクは工事の価格帯で区別しているのか。」

本市：「そのとおりです。」

委員：「インフレ下であり、工事価格は上昇しているのではないか。そうすると、Aランクへの発注が増えると考えていいか。」

本市：「ご認識のとおりです。」

委員：「Aランクへの発注が増えて、Aランク以外への発注が減ると、Aランクの事業者数が一定な分、不調リスクに繋がる恐れがある。今後調整が必要と思う。」

委員：報告を了承。

議題２－（３） 談合情報対応状況について

（非公開）

議題２－（４） その他

委員より、江戸川区の不適切契約事案に関する報告書が公表された件について情報共有。

【まとめ】

抽出した案件について審議を行った結果、適切に入札及び契約手続等が行われていました。